

開催協議会名	令和4年第3回大田警察署協議会		
開催日時	令和4年9月30日（金）午後3時から午後4時30分まで		
出席者	協議会委員	6人 石賀会長、浅野委員、大羽委員、中村委員、別所委員、和田委員	
	警察署	9人 （役職名：署長、副署長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、温泉津広域交番所長）	
会議・協議	署長からの 諮問	諮問事項	地域に根ざした災害対応について
		説明概要	大田警察署では、災害対処能力の向上のため「警備体制の確保」「自治体との連携」「警察署間の連携」「部隊による救出・救助」等を目的とした訓練を実施してきた。住民との連携について、住民の立場からどのような方策があるか等について諮問した。
		答申	協議会委員から、以下のような意見が出された。 (1) 自主防災組織との連携 自主防災組織と警察の連携は住民も歓迎するところであり、警察が積極的に訓練参加すれば、関係機関はもちろんのこと住民との関係も深まっていくものと思われる。 (2) 地域資源（人材等）の活用 地域には、その道のプロと呼ばれる数多くのプロフェッショナルがいる。例えばチェーンソーによる倒木の切断、撤去など、林業に携わる職人を講師として活用すれば、災害対応能力の向上につながる。 (3) 警察による出前講座の開催 例えば、住民による防災グッズ製作の取組を行っている町づくりセンターもあると聞いている。不測の事態に備えた防災グッズの整備や各地域が持っている装備資機材を有効に活用した連携は、住民にとっての安心感にもつながる。

説 明	説明事項	(1) サイバーセキュリティに対する意識・理解を県民に広く醸成させる方策 (2) 大田市の安全安心の実現に向けた地域と警察との関わりについて
	説明概要	(1) サイバーセキュリティに対する意識・理解を県民に広く醸成させる方策について、副署長が昨年の委員の答申をもとに、警察署が取り組んだ施策を説明した。 (2) 次回警察署協議会の諮問事項として「大田市の安全安心の実現に向けた地域と警察との関わりについて」を予定していることから、委員から提言・意見をもらうため、署の取組状況を生活安全課長・地域課長・交通課長がそれぞれ説明した。
	意見など	(1) 最近大田市内では、高校生が2人乗りする自転車をよく見かける。スピードの出し過ぎで、事故になりそうだったという話も聞いている。 高校生を含めて自転車の乗り方について指導をしていただきたい。 (2) 大田市大森町地区は観光地であり、観光客の人が自転車を借りて走っている姿をよく見かけるが、中には動画を撮影しながら乗っている人も見かけるので、自転車指導等の参考としていただきたい。 (3) 車両運転手の中には、携帯電話に電話が架かってきたためか、突然車を道路に止めて電話に出る人がいて危険を感じる。 「何処でも止まればいい」という感覚の人がいるので、講習等の場で指導等していただきたい。
そ の 他	交通安全シミュレーター等の体験 協議会開催日が「秋の全国交通安全運動」期間中であったことから 同会終了後、委員には ○ 歩行シミュレーター ○ KYT（危険予測トレーニング）	

○ 反射体験ボックス  
を体験してもらうことで、警察が取り組む交通安全教育への理解を深めた。

写真



【会長あいさつ】



【署長あいさつ】



【会議開催状況】



【交通安全シミュレーター等の体験状況】

